

日本の宝島

# 天草

Amakusa City

2020 天草市 市勢要覧





春



夏

Contents 目次

市長挨拶	1
天草市よかところマップ	2
市の概要	4
産業経済	5
観光・文化	6
地域振興	7
教育	8
保健・医療・福祉	9
生活環境・防犯防災	10
都市基盤整備	11
総務・企画	12
情報チャンネル	13



秋



冬

人が輝き 活力あふれる  
日本の宝島“天草”を目ざして

天草市は、平成18年3月27日に、天草諸島内の2市8町が合併して誕生しました。第2次天草市総合計画で、「人が輝き活力あふれる 日本の宝島“天草”」をまちづくりの基本理念に掲げ、地方創生の時代にふさわしいまちづくりに取り組んでいます。

その実現のために、基幹産業である第1次産業を魅力あるものとして育てつつ、第2次・第3次産業との融合を図り、新たな価値を生み出しながら天草ブランドの確立や販路拡大に力を注いでいます。加えて起業創業や中小企業への支援等で雇用促進を図るとともに、移住・定住の促進などにも積極的に取り組んでいます。

平成30年7月には崎津集落を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されました。天草にある地域資源を活かし、豊かで活力ある産業のまち、文化を育み人が輝くまち、安らぎのある快適なまち、未来を拓く社会基盤が充実したまち、そして自治体経営が安定したまちを目指しています。

本市の目指す姿や魅力をお伝えする一助として、この市勢要覧をご覧いただければ幸いです。

令和2年3月

天草市長  
中村五木



# 天草市 よかところマップ



野生のイルカが  
間近に暮らしています

イルカと通詞島



イルカがデザインされた  
飛行機

天草エアライン



干しタコは  
夏の風物詩

タコ街道



ゾウさんに  
見えるでしょ!?

妙見浦



かかし村の村民は  
年々増加中

宮地岳かかしまつり



682mの山頂からは  
絶景が望める

天草最高峰の倉岳



日本の「夕陽百選」にも  
数えられている

大ヶ瀬の夕陽



大江教会

崎津教会



平成30年7月  
世界文化遺産に!

崎津集落



アオサ

海に広がる緑のじゅうたん



化石採集も  
体験できます

恐竜の島



天草海域公園

サンゴや色とりどりの  
魚が見られる海中

## 天草の祭り



4月 牛深ハイヤ祭り



5月 下田温泉祭(天草)



7月 虫追い祭り(河浦)

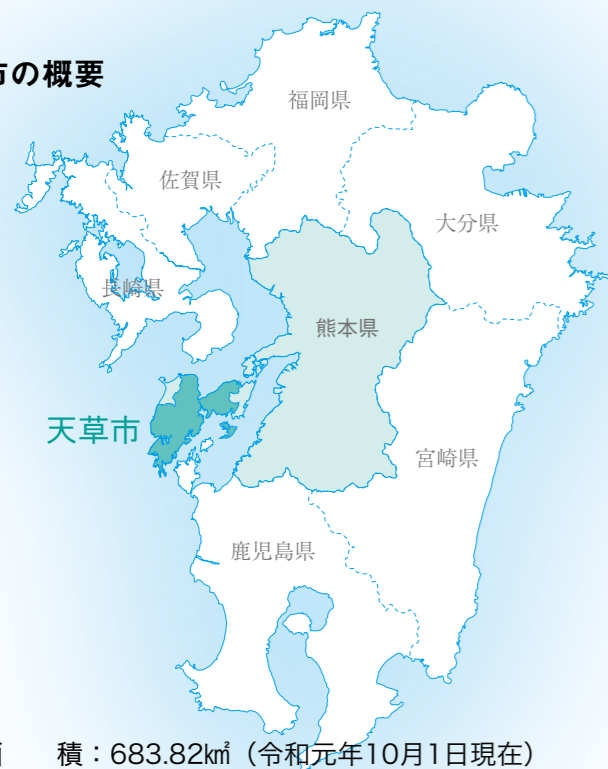


8月 本渡ハイヤ祭り



11月 栖本太鼓踊り

市の概要



熊本県の南西部に位置する天草市。人口は約8万人で県下3位、総面積は県下最大で683.82km<sup>2</sup>を誇ります。東シナ海・有明海・八代海に囲まれ、雲仙天草国立公園に指定されている自然景観をはじめ、キリシタンの歴史や南蛮文化、イルカウォッチングなど数多くの観光資源に恵まれています。

平成30年には、天草の崎津集落（河浦町）が、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録。厳しい禁教下に、日本の伝統宗教とキリスト教が共存しながら信仰を継続した潜伏キリシタンの集落として高く評価されています。



面積：683.82km<sup>2</sup>（令和元年10月1日現在）  
 人口：79,694人（令和元年12月末現在）  
 世帯数：36,915世帯（令和元年12月末現在）  
 姉妹都市：アメリカ・エンシニタス市  
 友好都市：熊本県高森町、北海道浦河町、熊本県五木村、長崎県新上五島町、長崎県南島原市



創造性豊かな産業のまちづくり

自然豊かな本市では、豊富な水産物や柑橘類をはじめとする農産物、優良な木材など、良質で多品目な産品がとれます。また質の高い陶石から生み出される天草陶磁器は国の伝統的工芸品に指定されています。

これらを活用して6次産業化による高付加価値化や販路拡大に取り組みつつ、第1次産業の担い手を確保するため、独自の新規就業者支援に取り組んでいます。新規起業家や中小企業には、アマビズ・商工団体・金融機関と連携した相談支援や補助金で支え、企業誘致にも積極的に取り組んでいます。

産業経済

「第2次天草市総合計画」

まちづくりの基本理念『人が輝き 活力あふれる 日本の宝島“天草”』

目指すまちの将来像

豊かで活力ある産業のまち	文化を育み人が輝くまち	安らぎのある快適なまち	未来を拓く社会基盤が充実したまち	自治体経営が安定したまち
--------------	-------------	-------------	------------------	--------------

基本計画 部門経営方針

- ① 創造性豊かな産業のまちづくり
- ② 歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり
- ③ みんなで築く活力あるまちづくり
- ④ 未来を拓く人を育むまちづくり
- ⑤ 生き生きと暮らせ共に支え合うまちづくり
- ⑥ 環境と共生した安心・安全なまちづくり
- ⑦ 暮らしやすい機能的なまちづくり
- ⑧ 持続可能な行政経営ができるまちづくり



▲起業創業・中小企業支援センター「アマビズ」



# 観光・文化

## 歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり

本市には、キリスト教信仰の歴史や南蛮文化、西海岸に沈む夕陽などの自然景観、化石採集やイルカウォッチングといった体験、人情味あふれる“おもてなし”や新鮮な海の幸・山の幸と、盛りだくさんの観光資源があります。これらを活かして、魅力づくり・仕組みづくり・担い手づくりによる観光振興や、「道の駅」を拠点とした島内周遊性の向上などを図っています。

また、歴史的文化遺産や伝統文化の保全・活用、特徴的な地質・地形、化石など大地に関わる情報発信と保全に取り組んでいます。



◀▲子育て世代の移住者も多い



▲島民がもてなすマラソン大会



道の駅天草市イルカセンター



## みんなで築く 活力あるまちづくり

まちづくりの基本は「人づくり」。次世代を担うリーダーの育成と住民主体のまちづくりを推し進め、自助・共助・公助の協働による活力あるまちを目指しています。

各地に地域おこし協力隊員を配置し地域資源の掘り起こしを進めつつ、新たな活力を生み出す移住・定住政策や関係人口と呼ばれる「ふるさと住民」を活かした地域づくりも始まっています。

また、スポーツ大会や合宿の誘致等で交流人口の拡大と地域活性化を図り、各種交通資源の再編やニーズに応じた移動手段を導入することで持続可能な公共交通網の形成に取り組んでいます。

# 地域振興

# 教育

## 未来を拓く人を育む まちづくり

次世代を担う人材の育成と、生涯にわたる学びの機会の創出のため、誰もが自由に学べる環境づくりに取り組んでいます。

生涯学習では、複合施設「ここらす」を拠点施設と位置付け、図書館や生涯学習センター、公民館を配置し幅広い年代層が集い学ぶ環境を整備しています。

学校教育では、「確かな学力・豊かな心・たくましい心身」の調和のとれた生きる力を育み、世界遺産学などを通じて郷土を愛する心を育てています。

また、大学等と連携した人材育成や国際交流を進め、多様な文化が共生する社会の実現に取り組んでいます。



▲▼ ICTを活用した授業



## 生き生きと暮らせ 共に支え合うまちづくり

子育てを楽しみ、健康づくりに励み、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らせる地域の実現を目指し、きめ細やかな生活支援に取り組んでいます。

個人だけでなく事業所向けの「健康ポイント」事業や住民主体による「通いの場」「ふれあいいきいきサロン」への支援、「認知症カフェ」などの環境づくりを進めつつ、身近な地域で医療サービスが受けられる体制づくりに取り組んでいます。

また、高齢者や障がいのある人への社会参加支援に加え、妊産婦や子育て世代への支援充実を図り、地域全体で子どもを育てる環境を整えています。

# 保健・医療・福祉

# 生活環境・防犯防災

## 環境と共生した 安心・安全なまちづくり

豊かな自然と景観を後世に継承できるように、ごみの減量化・資源化を推進し、自然共生社会・循環型社会の実現を目指しています。

災害に対しては、各世帯や主要施設へ戸別受信機を設置し、防災行政無線やコミュニティFMを効果的に運用しながら迅速な情報の収集・発信に努め、子どもからお年寄りまで「暮らしやすさ」を実感できる災害に強い社会環境づくりに取り組んでいます。

防犯・交通面では関係機関と連携を強化し、地域全体で見守りながら交通事故の防止や犯罪の未然防止に努めています。



▲防災行政無線



第二天草瀬戸大橋完成イメージ

## 暮らしやすい 機能的なまちづくり

天草の豊かな自然や歴史・文化などに配慮した良好なまちなみの形成に努めつつ、住宅耐震化や老朽危険家屋の対策、上下水道などの施設更新を行い、市民が生活しやすい環境づくりに取り組んでいます。

国県道と幹線市道などの整備による道路網の充実や計画的な維持補修に取り組み、また本渡道路を含む熊本天草幹線道路の早期完成および島原天草長島連絡道路の実現に向けた活動を展開しながら、高速交通体系を確立し広域交流の増進を図ります。

また、コミュニティFM等を活用した情報発信の強化、通信環境の地域間格差解消を進め、利便性が高く機能的な社会基盤づくりに取り組んでいます。



# 都市基盤整備

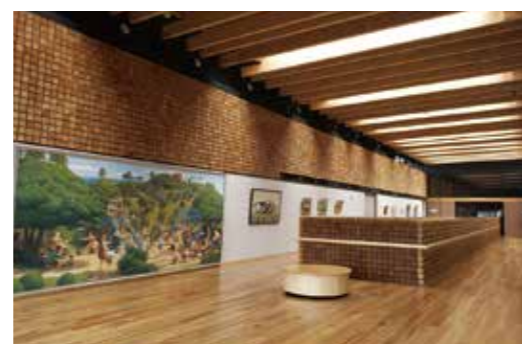
# 総務 ・ 企画

## 持続可能な行政経営が できるまちづくり

「天草市行政経営改革大綱」に沿って持続可能な行財政運営に取り組み、必要な財源の確保に加え選択と集中により事業を実施しています。

市有財産については、保有総量の縮小や長寿命化を図りつつ、適正な管理と利活用に取り組んでいます。

“行政を経営する”という視点に立って、限られた経営資源（人、物、金、情報）を有効に活用し、窓口サービスの充実やICTなどの活用による業務改革、専門的な能力や知識を備えた職員の育成を図り、市民の皆さんとともに「働ける場所がある」「安心して産み育てられる」「心豊かに暮らせる」そんな天草市の未来を描いています。



## 観光情報や旬の話題はここでチェック!

### 天草市の公式SNS



天草の今を発信中。季節ごとに違った表情を見せる景色に魅力いっぱいの人やイベント。写真で天草の魅力を伝えています。

Facebook 「天草市」



Instagram  
「amakusa\_islandstory」



### 天草市移住・定住サイト「あまくさライフ」



自然豊かな天草市に魅力を感じ、移住してくる人たちが増えています。

空き家バンク制度など移住・定住サポートも充実しており、この10年で600人を超える人があまくさライフをスタートさせています。



### (一社) 天草宝島観光協会

熊本県天草市中央新町15-7  
天草宝島国際交流会館ポルト1階  
TEL.0969-22-2243  
<https://www.t-island.jp/>





## 市民憲章

わたしたちは、将来にわたって  
夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、  
ここに天草市市民憲章を定めます。

- 1 感謝の心を持ち、豊かな「しぜん」を守ります
- 1 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 1 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 1 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 1 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます



市の木：あこうの木



市の鳥：かもめ



市の花：はまぼう



市の魚：鯛

## 市章



天草市の頭文字である「ア」を鳥と波に図案化し、広がる波紋は活気あふれる市民と市の発展を、緑と青は自然豊かな日本の宝島“天草市”を象徴しています。(市章の色は、左から緑、青、水色。)

## 天草市市勢要覧

発行 熊本県天草市

〒863-8631 熊本県天草市東浜町8番1号

TEL 0969-23-1111

FAX 0969-22-7016

e-mail : hisyoka@city.amakusa.lg.jp

天草市ホームページ

<https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>

